

第③回
蓼科高原みずなら音楽祭
2013
音楽監督：小林 研一郎

レクチャー・コンサート



■チェロ

レオニード・グルチン



■クラリネット

村井 祐児



■トランペット

ミロスラフ・ケイマル

■管弦楽

コバケンとその仲間たち
プレミアムオーケストラ



■ヴァイオリン

瀬崎 明日香



■ヴィオラ

阿部 真也



■ソプラノ

生野 やよい



■ピアノ&指揮

小林 研一郎

演奏曲目

モーツァルト クラリネット協奏曲 第二楽章
オンブラ・マイ・フ (トランペットとソプラノ)
チャルダッシュ (バイオリンとピアノ)

他 チェロ、トランペットの独奏 など
多彩なプログラムを用意しております

入場料金 (全席自由) 6,000円

未就学児の入場はご遠慮ください。

2013年

8/9(金)

蓼科フォーラム

(チェルトの森 内 東京商工会議所研修所)

8/10(土)

蓼科みずならホール

(東急リゾート 内 トヨタ輸送研修所)

両日とも

14:00 開演

13:30開場 16:15終演予定

チケット窓口・お問い合わせ

茅野市民館(両日分)

電話 0266(82)8222

フロンティア蓼科(両日分)

電話 0266(77)5375

蓼科フォーラム(8月9日分)

電話 0266(71)6600

蓼科東急タウンセンター(8月10日分)

電話 0266(69)3211

主催：蓼科高原みずなら音楽祭実行委員会 協賛：ローム株式会社

後援：長野県、茅野市、茅野商工会議所、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、茅野市社会福祉協議会、(財)八十二文化財団、長野朝日放送(株)、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、エルシーブイ(株)

協力：トヨタ輸送(株)、蓼科フォーラム(東京商工会議所研修所)、茅野市民館 指定管理者(株)地域文化創造、蓼科東急タウンセンター、フロンティア蓼科

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

小林 研一郎 Ken-ichiro Kobayashi【指揮】

東京藝術大学作曲科及び指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。世界中の数多くの音楽祭に出演のほか、国内外のオーケストラを多数指揮。ハンガリー国立響音楽総監督・常任指揮者、チェコ・フィル常任客演指揮者、日本フィル音楽監督などを歴任。

ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章（民間人としては最高の勲章）を授与される。2011年文化庁長官賞受賞。

現在、ハンガリー国立フィル、日本フィル、名古屋フィル桂冠指揮者、ハンガリーリスト音楽院名誉教授、東京藝術大学名誉教授。東京音楽大学名誉教授。

東京文化会館音楽監督。

2005年3月、社会貢献を目的とした『コバケンとその仲間たちオーケストラ』を設立。

コバケンとその仲間たち プレミアムオーケストラ【管弦楽】

オフィシャルブログ <http://kobaken-and-friends.at.webry.info>

小林研一郎は、2005年3月社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立。

そのオーケストラからスピンアウトして若手のプロ演奏家育成を目的とした「コバケンとその仲間たちプレミアムオーケストラ」として2012年春より活動を開始した。

世界を舞台に活躍中のメンバーも多いが、更に研鑽を積む為、毎夏この夢科に集まって来る。

共演講師陣

ミロスラフ・ケイマル Miroslav Kejmar【トランペット】

1941年チェコスロヴァキアのクラグノーで生まれたミロスラフ・ケイマルは、まずヴァイオリンを学び、10歳の時にトランペットを手にした。戦後共産主義体制が強くなるにしたがって音楽を学ぶ環境が得られなくなったため、軍のプラスバンドに入団。そこではもっぱらフリューゲルホルンを吹くことになったが、この経験がトランペットでの柔らかな音色や表現力を身につけることに役立ったという。

21歳でブラハ音楽院に入学、さらに上級の芸術アカデミーまですみ、アドルフ・シェルバウムなどに師事して学んだ。1970年、アカデミーの2年生の時にチェコフィルハーモニー管弦楽団に入団して以来、トランペット奏者として同管弦楽団の金管パートをリードするほか、独奏者としても活発な演奏活動を行っている。ブラハ在住。

村井 祐児 Yuji Murai【クラリネット】

1963年札幌西高から都立駒場高校を経て東京芸術大学器楽科を卒業。日独交換留学生として西ドイツ・デットモルトの北西ドイツアカデミーに留学。クラリネットをヨースト・ミハエルス、室内楽をヘルムート・ヴィンシャーマンに師事。1972年同校にてソリスト試験を修める。日本では、ヒンデミットのコンチェルトを東響定期にて初演。現在まで東京にて20回のリサイタルを開催。

2008年5月にはチェコ「ブラハの春」国際コンクール審査員。2009年ドイツクラリネット協会にて演奏。現在、東京芸術大学名誉教授。日本音楽コンクール運営委員。

レオニード・グルチン Leonid Gulchin【チェロ】

サンクト・ペテルブルグに生まれる。ロシア国立サンクト・ペテルブルグ音楽院卒業。在学中より、サンクト・ペテルブルグ交響楽団メンバーとなる。室内楽で様々なコンクールに参加。

1994年より5年間ストラヴィンスキー弦楽四重奏団及びサンクト・ペテルブルグ・ハッチンス八重奏団メンバーとして、世界各地で演奏。

2000年4月より群馬交響楽団首席奏者となる。2001年に日本で初のソロリサイタル後、前橋テルサホールで「グルチンと素敵な仲間たち」5夜にわたる室内楽シリーズや、2006年、ショスタコーヴィチ100周年記念プロジェクトなど、室内楽で活躍をしている。

2009年、4夜にわたる「ヨクゼン音楽サロン」シリーズ実現。

ロシア作曲家小品による「無語歌」CDをリリース。

瀬崎 明日香 Asuka Sezaki【ヴァイオリン】

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学を首席卒業。パリ国立高等音楽院大学院で研鑽を積む。1995年日本音楽コンクール第1位、レウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞など受賞多数。これまでに国内はもちろん欧米のオーケストラと数多く共演している。

トリエステ国際室内楽コンクール最高位受賞。

フォーバルスカラシップ・ストラディヴァリウス・コンクール優勝。

ALMコジマ録音より「イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲」「サン＝サーンスヴァイオリン作品集」のCDをリリース。

「コバケンとその仲間たちオーケストラ」及び「コバケンとその仲間たちプレミアムオーケストラ」のコンサート・ミストレスを務める。千葉市民功労賞受賞。現在、ロームミュージックファンデーション海外研修助成を受けてイタリア・ローマ在住。

阿部 真也 Shinya Abe【ヴィオラ】

幼少よりピアノを、13歳よりヴァイオリンを始める。サンフランシスコ音楽院修了。2005年より拠点をドレスデンに移しオーケストラ奏者・指揮者として研鑽を積む。2006年第1回コルドバ国際指揮者コンクール入賞。2007年よりエドワードサイド音楽院ベツレヘム校ヴァイオリン、ヴィオラ、室内楽科教授に就任し、同音楽院オーケストラ、パレスティナユースオーケストラの音楽監督も兼任。2007年より「阿部真也と仲間達室内楽シリーズ」を開催。2010年にはアメリカ公演も好評を博し、2011年12月には20回公演を迎える。現在、国内外のオーケストラの客演指揮、大学オーケストラトレーナー、コバケンと仲間達オーケストラヴィオラ奏者。横浜シンフォニッタ客演コンサートマスターとしても招待を受ける。ドレスデン在住。

生野 やよい Yayoi Ikuno【ソプラノ】

福岡県生まれ。2010年10月小林研一郎に抜擢されヴェルディ作曲『レクイエム』のソリストを務め日本フィルと共演。その後も11年7月大阪シンフォニーホールにてマラー作曲『さすらいの若人の歌』ソプラノ版歌手として再度小林研一郎に抜擢され、関西フィルと共演。12年12月三枝成彰プロデュース、小林研一郎指揮、千人の第九in長岡にソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団と共演。13年2月秋山和慶指揮にて広島交響楽団と共演。現在ヴェネツィアのフェニーチェ歌劇場第1回コレパティオーレのステファノ・ジベッラートのもとで研鑽を積む。

